

## 【テーマ2】 大阪教育大学

### 教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

(教師を目指す学生を対象とした海外留学を含む教員養成プログラムの開発)

## 調査の概要

### ◆課題認識

- 日本人の英語力向上に向けた英語教育改革に目立った成果が見られない
- 英語教員の英語力および英語教授スキルの不足が根本原因では？

### ◆調査研究の目的

高度な英語運用能力と言語習得・教育理論に裏打ちされた英語指導力を備えた教員の養成のためのハイブリッド海外研修開発とそのカリキュラム化

### ◆研修先

- 研修A：カナダ・ピクトリア大学
- 研修B：豪州・グリフィス大学（英語研修）  
タイ・チェンマイ大学（指導法）

### ◆研修の内容

- 7-8週間のオンライン研修（指導法研修）
- 3-4週間の留学先での英語研修
- 1-2週間程度の留学先での指導法集中研修  
→ 令和7年12月から令和8年3月にかけて実施

## 取組のポイント・成果

### ◆これまでに達成した点

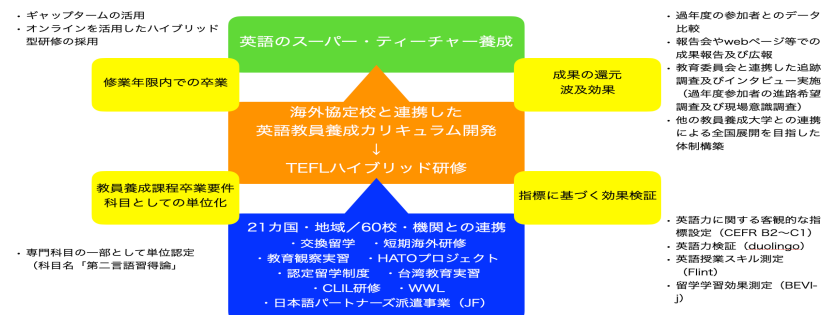
- ギャップタームの活用
- 教員養成科目としての位置付け（専攻専門科目「第二言語習得論」単位化）
- 他大学参加者（R5：北海道教育 1・R6：東京学芸 1・R7：東京学芸 2）

### ◆指標に基づくこれまでの成果

- 令和4年度より実施している7～8週間のオンライン＋3～4週間の現地研修から構成される研修により、これまでに30名がTEFLの資格を取得
- IELTS・Duolingoの結果から多くの参加者のCEFR B2レベルの英語力を確認
- 研修前後の模擬授業の比較より、主に生徒を意識した話し方への改善や、生徒とのインタラクションの増加、動機づけの観点のさらなる取り入れが見られ、参加者の授業の質の向上を確認
- 異文化理解・多文化共生力BEVI-jの結果の研修前後の比較から、参加者の国際性や多様性への対応などの向上を確認

### ◆令和7年度の主要な取り組み

- 「第2の研修プログラム」発展：研修B（参加者3名、うち他大学2名）→研修A参加者8名と合わせて11名全員TEFL資格取得
- キャリア支援対策：教採対策のオンライン実施に目処（教採早期化や3回生受験に合わせて要調整）・模擬授業対策講座の実施



## 今後の課題

- 国内他機関への展開は着実に進みつつあるが、参加学生からのフィードバックも含めて内容・広報にさらなる改善が必要。
- キャリア支援については教育行政を含めた学外との連携に課題が残ったため、学生のニーズを踏まえて積極的な展開が必要。